

平成24年度 決算を認定

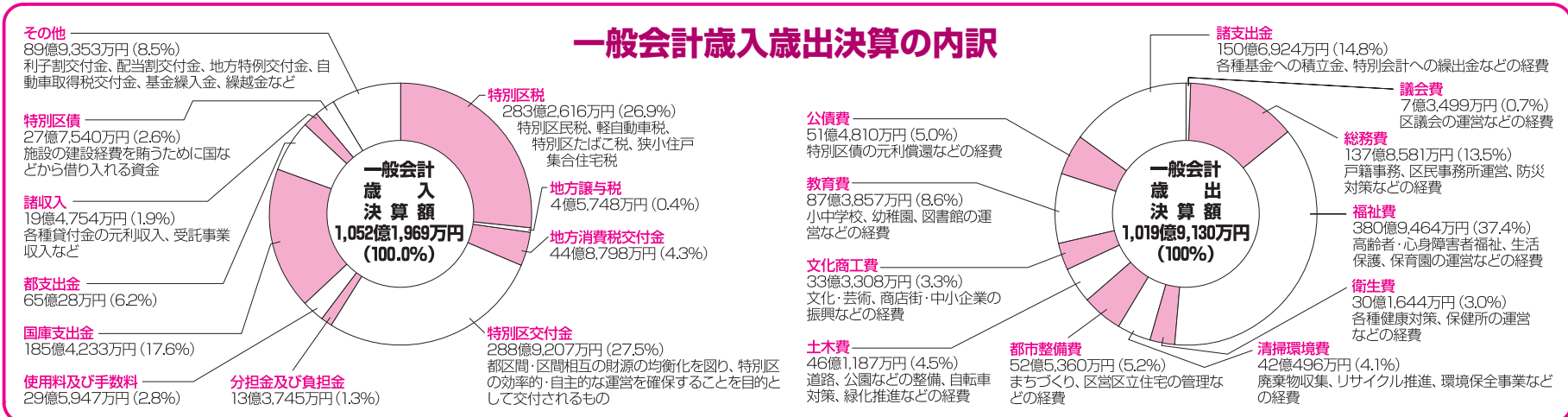
平成25年第3回定例会は、9月20日から10月25日までの36日間にわたって開会されました。

今定例会では、平成24年度一般会計及び3特別会計決算等の審議が行われ、決算4件を認定したほか、区長提出議案10件を可決、議員提出議案は3件を可決、3件を否決し、報告5件を了承しました。

皆さんから提出された陳情は、1件を採択、4件を不採択、3件を閉会中の継続審査としました。



決算特別委員会の様子



豊島区議会は、国と政府に対し、次の事項について強く求めます。

- ハッパダム建設に関する基本計画の変更手続き等を早急に行うこと。
- ダム本体工事に係る予算措置を遅延なく行うと共に、徹底したコスト削減等に取り組み、かつ1日も早く完成させるため最大限の努力を行うこと。

意見書

ハッパダム建設推進を求める
(東京都知事あて)

- 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を、平成26年度以後も継続すること。
- 商業地等における固定資産税及び都市計画税について負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を、平成26年度以後も継続すること。

可決した意見書等(要旨)

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

東京都独自の施策として定着しているこれらの軽減措置が廃止されることとなると、小規模事業者の経営や生活はさらに厳しいものとなり、ひいては地域社会の活性化のみならず、日本経済の回復に大きな影響を及ぼすことにもなりかねない。

よって豊島区議会は、東京都に対し、以下の事項について強く要望する。

- 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を、平成26年度以後も継続すること。

3 地元住民の生活再建事業の充実と速やかな完成を図ること。
(衆・参議院議長、内閣総理・総務・財務・国土交通大臣あて)

法人住民税の一部国税化に関する意見書

豊島区には、急激に押し寄せると高齢化への対応や、高度成長期に全国に先駆けて建設された多くの公共施設が改築時期を迎えているなど、大都市特有の財政需要が存在しており、税収の多さのみに着目して、財政的に富裕であると断ずることは適当ではない。限られた地方税による調整では、地方財政が直面している問題の根本的な解決にはつながらない。

よって、豊島区議会は、国会及び政府に対し、限られた地方税源の中で財源調整を行うのではなく、地方が担う権限と責任に見合う地方税財源の拡充という本質的な問題に取り組むよう強く要望する。

(衆・参議院議長、内閣総理・総務・財務大臣あて)

米国の核実験に抗議

米国が今年4月から9月の間に行った新型の核性能実験に対し、豊島区議会は、8月27日及び11月1日に米国大統領あてに抗議の要請書を送付しました。

主な掲載内容

議案等の審議結果一覧等	2面
区政のここが聞きたい ～一般質問(要旨)～	3～6面
常任委員会Q&A/ 決算特別委員会	7～8面

○：可決に賛成 ×：可決に反対

議案等の概要と審議結果

番号	件名	概要	自民党豊島区議団(9人)	公明党(8人)	日本共産党(6人)	自治みらい(6人)	みんな無所属の会(3人)	生活の党(1人)	結果
認定第1号	平成24年度豊島区一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額 1,052億1,968万6,242円 歳出決算額 1,019億9,129万8,849円	○	○	×	○	○	○	認定
認定第2号	平成24年度豊島区国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額 306億9,678万1,106円 歳出決算額 292億4,793万6,513円	○	○	×	○	○	○	認定
認定第3号	平成24年度豊島区後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額 54億8,149万931円 歳出決算額 52億3,797万7,388円	○	○	×	○	○	○	認定
認定第4号	平成24年度豊島区介護保険事業会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額 167億22万9,340円 歳出決算額 164億5,867万319円	○	○	×	○	○	○	認定
報告第5号	専決処分報告について	住宅使用料等請求事件について、訴えの提起があったものとみなして行った、専決処分を報告する。	○	○	○	○	○	○	了承
報告第6号	専決処分報告について	豊島区営住宅の住宅使用料・共益費を滞納した相手方と区が交わした和解の専決処分を報告する。	○	○	○	○	○	○	了承
報告第7号	専決処分報告について	生徒の部活動中に起こった破損事故について、区が相手方と交わした和解の専決処分を報告する。	○	○	○	○	○	○	了承
報告第8号	専決処分報告について	粗大ごみ搬送作業中に起こった破損事故について、区が相手方と交わした和解の専決処分を報告する。	○	○	○	○	○	○	了承
報告第9号	平成24年度決算における健全化判断比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成24年度決算における健全化判断比率を報告する。	○	○	○	○	○	○	了承
第47号議案	豊島区アメニティ形成条例(一部改正)	アメニティ形成審議会の調査審議事項を見直し、同審議会に区民委員を加え、学識経験者の数を増やし、招集権者を会長に改めるとともに、専門部会を設置できることとする。	○	○	○	○	○	○	可決
第48号議案	豊島区立自転車等駐車場条例(一部改正)	区立巣鴨駅第三自転車駐車場の位置を変更し、区立池袋駅南自転車駐車場を新設する。	○	○	○	○	○	○	可決
第49号議案	大塚駅南自転車駐車場(仮称)整備工事請負契約について	契約の方法：条件付一般競争入札 契約金額：18億8,475万円 契約の相手方：戸田建設株式会社東京支店	○	○	○	○	○	○	可決
第50号議案	駒込第一保育園改築工事請負契約の一部の変更について	平成25年度公共工事設計労務単価に係る特例措置の適用により、契約金額を改める。	○	○	○	○	○	○	可決
第51号議案	平成25年度豊島区一般会計補正予算(第3号)	債務負担行為の補正。 補正前限度額 32億4,522万6,000円 補正後限度額 48億9,300万円	○	○	×	○	○	○	可決
第52号議案	平成25年度豊島区一般会計補正予算(第4号)	補正予算額 14億8,118万7,000円 補正後の額 1,024億3,453万1,000円	○	○	×	○	○	○	可決
第53号議案	平成25年度豊島区国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	補正予算額 14億1,196万9,000円 補正後の額 311億7,615万5,000円	○	○	○	○	○	○	可決
第54号議案	平成25年度豊島区後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)	補正予算額 2億5,714万9,000円 補正後の額 57億204万円	○	○	○	○	○	○	可決
第55号議案	平成25年度豊島区介護保険事業会計補正予算(第1号)	補正予算額 2億4,409万6,000円 補正後の額 177億5,484万2,000円	○	○	○	○	○	○	可決
第56号議案	豊島区教育委員会委員の任命について	被任命者 嶋田 由美	○	○	×	○	○	○	可決
議員提出議案第10号	豊島区認証保育所等保護者補助金の交付及び臨時保育所等の保育料の減免に関する条例	保護者の経済的負担を軽減するとともに認可保育所における保育料の負担との均衡を図り、もって児童福祉の増進に資する。	×	×	○	×	○	×	否決
議員提出議案第11号	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書	一面をご覧ください	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第12号	八ッ場ダム建設推進を求める意見書	一面をご覧ください	○	○	×	×	×	○	可決
議員提出議案第13号	法人住民税の一部国税化に関する意見書	一面をご覧ください	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第14号	公共工事に頼らない経済政策を求める意見書	国会及び政府に対し、これ以上公共工事依存型の経済政策を推進することなく、真に地域需要に対応した持続的な経済活性化策を講じるよう要請する。	×	×	×	○	○	○	否決
議員提出議案第15号	不要不急の大型公共事業をやめ、社会保障の充実を求める意見書	国会及び政府に対し、不要不急の大型公共事業をやめ、社会保障の充実を求める。	×	×	○	×	×	×	否決

請願・陳情の審議結果

	自民党豊島区議団	公明党	日本共産党	自治みらい	みんな無所属の会	生活の党	結果
25陳情第13号 行政に条例の正しい運用を望むの陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択
25陳情第14号 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択
25陳情第15号 新庁舎建設に伴う分煙施設の設置についての陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続審査
25陳情第16号 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	棄権	不採択に反対	不採択に反対	不採択
25陳情第17号 消費税増税中止の意見書を提出することを求める陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	棄権	不採択に賛成	不採択に反対	不採択
25陳情第18号 現庁舎地・公会堂地への「新ホール」等の建設計画(案)の区民説明を求める陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続審査
25陳情第19号 国に生活保護法の「改正」をやめさせ、生活保護基準の引き下げを中止させる意見書の提出を求める陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択
25陳情第20号 就学援助制度の改善を求める陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続審査

※取下げを承認した陳情…25陳情第12号東京オリンピック2020地下鉄(仮称)建設促進の議会採択の陳情



東大門区代表団と議場にて

9月26日、東大門区庁長の柳徳烈(ユ・ドンヨル)氏ら26名の訪問団が本区を表敬訪問し、竹下ひろみ議長、高橋佳代子副議長をはじめ全議員並びに高野之夫区長と懇談しました。

友好都市・ソウル特別市東大門区(トントンミング)代表団と懇談



広島市平和記念公園にて

8月6日、広島市平和記念公園で行われた広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に、本区から竹下ひろみ議長・高橋佳代子副議長及び5名の議員並びに高野之夫区長が参加しました。被爆68周年の平和記念日に行われた式典は、午前8時に開式され、遺族・市民及び安部晋三内閣総理大臣をはじめ国内外から多くの参列者のもと、原爆死没者の霊を慰めるとともに、恒久平和の実現を祈念しました。

平和記念式典に参加

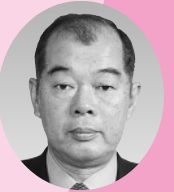
区政のここが聞きたい

第3回定例会一般質問(要旨)

9月24日・25日

※本会議と予算・決算特別委員会の録画中継を区議会ホームページで公開しています。

思いやりと感謝で築く豊島区に!!



自民党豊島区議員 里中 郁男

●区財政について

問 アベノミクスの好循環が区財政に及ぼす影響は。

答 納税義務者数の増が人口の伸びを上回るなど、今年度の特別区民税の伸びが期待できる状況となっていることから、着実に上向いていると感じている。

問 消費税増税が区財政に及ぼす影響は。

答 財政運営への影響を最小限にできるが、今後の予算編成における大きな課題と認識。

問 地方法人課税の見直しの動向と財調は。

答 地方法人特別税の原資を法人事業税から法人住民税に変更する案など、いくつかの案が示されている。法人住民税がターゲットになった場合、財政調整交付金は確実に減額となる。

問 中期財政計画策定の予定は。

答 27、28年度の予算の大枠を中期財政計画として、26年度当初予算編成の際に示したい。

問 立て続く大規模施設整備に対する財政運営は。

答 起債を積極的に活用し、一般財源の負担を極力抑え、安定的な財政運営に努める。

問 ●現庁舎地の活用について 事業者公募に向けた民間事業者の反応は。

答 多くの民間事業者に参加の意欲を示していただいているが、今後も、予断を許さない状況が続くものと考えている。

問 募集に向けた課題とスケジュールは。

答 定期借地権における地代の

最低価格の設定など。募集要項案を作成し、年度末の公表に向けてとりまとめる。

問 新ホールの初期コストとラニングコストのトータルコストの試算は。

答 建設費など総額で50億円と想定。維持管理経費などに4億1千万円程度見込んでいる。

問 現庁舎地周辺まちづくりビジョンの策定状況と今後の予定は。

答 現庁舎地周辺の課題を明らかにするとともに、年内にはパブリックコメントを経て、年度内には策定できるよう取り組む。



現庁舎地の活用

●待機児童対策について

問 豊島区待機児童対策緊急プランの具体化は。

答 要町幼稚園での預かり保育などを開始した。今後、小規模保育所及び施設型保育ママを開設する予定。

問 保育所の定員増と待機児童数の見込みは。

答 約400名の定員増。年度当初は待機児童を解消できると想定。

問 子ども・子育て支援事業計画の対策と今後の展望は。

答 子育て世帯に調査を行い、

来年度前半までに支援事業計画をまとめる予定。新たな待機児童対策を計画に盛り込みたい。

問 認証保育所に入所している保護者の負担軽減事業の拡充は。

答 来年度に向けて、対象者の拡大や補助額の増額を検討する。

問 ●待機児童問題について 高齢者人口の推計は。

答 人口は減少に転じるものの、高齢者人口は増加すると推計。

問 特養ホーム待機者数の実態は。

答 申込書に有効期限を設けるなど、より適切で公平な入所判定が行えるよう基準を変更したため、昨年12月末では1千255名。区における高齢化の特徴は、単身の高齢者が多いことが

豊島区が住みやすく輝けるまちに



公明党 中島 義春

●平成24年度決算と今後の街づくりについて

問 昨年、現庁舎周辺まちづくり提言書が区長に提出された。これをどのように活かし、ビジョンを作成していくのか。

答 地元が考えるまちづくりについて、8分野の提言をいただいた。できる限り地元の意向を活かせるよう取り組む。

問 新ホールが、にぎわいづくりやまちの価値にどのような影響をもたらすのか、その必要性等と合わせて伺う。

答 区主催行事はもとより、興行利用で稼働率・集客力を向上させ、周辺との一体開発での相乗効果を生み出し、にぎわいを創出する文化創造都市の中心的役割を担う施設を整備する。

問 現庁舎周辺整備に莫大な財

源を投じていること、改善してきた区の財政運営が心配。財源の見直しは。

答 基金や起債の活用で、計画的な財政運営に努める。

あげられる。

問 竹岡健康学園廃止後の特養としての検討と造幣局跡地は。

答 学校としての施設仕様であり、特養に転用できない。造幣局跡地は、福祉の用途での活用を視野に入れて検討する。

問 施設整備と在宅支援の組み合わせなど幅広い対策は。

答 事業の安定性を確保しつつ、良質なサービスの提供を確保できるかが、大きいと考えている。

問 「確かな社会保障を将来世代に伝えるための道筋」などビジョンは。

答 各自自治体にとっても、欠くことのできないものと考えている。あらゆる英知を結集し、最善の道を探していく。

●子育て施策について

問 我が会派の本年3月の緊急申入れに即応し、区は「待機児童対策緊急プラン」を策定。しかし、更なる入所希望者増加が予想され、27年度予定の新制度開始時に十分に対応できない可能性について、区の見解は。

答 来年度まとめる予定の子ども・子育て支援事業計画をしっかりと実行し、国の目標の29年度までに待機児童ゼロ実現に努力する。

問 認可外保育所入所児童の保護者へ、情報提供をする保育コ

ンシエルジュ導入を求めたが、

を設置し、検討を進める。

問 子どもたちへの血液検査は、糖尿、脂質異常等が分かる。骨密度測定結果も更に生かせ、早い段階で児童生徒の健康が守られる。本区でも実施を望む。

答 人的配置、実施体制の確保、保護者の理解など、課題を整理し検討する。

問 国は、がんに関する保健教育強化の方針を決め、来年度、選定するモデル校での授業や研修は、まさに本区でのがんに関する教育そのもの。全国からの視察も多い本区は状況は。

答 本区は先駆的な取り組みが全国にも受け止められた。専門家や闘病経験者の協力で区独自の教材を開発するとともに、国に先んじた授業を展開。今年度も区立全小・中学校で実施。



がんに関する保健教育強化

その進捗状況は。
答 準備が必要のため、来年度導入を考えているが、できるだけ早い時期に、区内保育施設検査の「保育サイト」を開設予定。
●東武東上線北池袋駅の雲雀ヶ谷踏切について

「現庁舎地・周辺整備」は白紙撤回を



日本共産党

森 伸

●新たな区民負担を強いる50億円の劇場ホール建設計画等について

問 区長は6月に、これまで17億円とされていた新公会堂計画を50億円の劇場ホールに変更し35億円を借金するとしている。さらに周辺整備として新区民センターや中池袋公園、区道整備を打ち出した。総投資額、年度別事業費、起債の返済計画など資金計画の全体像は、いまだに明らかにされないが。

答 10月の議員協議会で報告するよう準備中。
問 政策決定したのは7月の政策経営会議とされているが、事前に6月議会で公表したのは区長の独断専行ではないか。

答 庁内での検討は済んでおり、全て積み重ねの上での判断。
問 新公会堂は、「借金せず10億円の黒字で建てられる」と言っていた新庁舎建設計画に含まれていたはず。本年3月の時点でも区長はそう言っていた。

答 平成22年に切り離れた。3月時点は、余裕があれば公会堂の整備費も賄いたいとの思いがあった。
問 不況や地価下落などにより新庁舎の資金計画は、ますます厳しくなっているのに、区は認

問 雲雀ヶ谷地下道と駅構内の地下道を接続できれば、利便性が向上できるのでは。
答 32年度完成予定の補助82号線で道路と鉄道が立体交差となるので、現在の地下道と異なる動線で整備を進める必要がある。

めようとしはない。しかも財政が逼迫していると言いつつ、借金しても劇場ホールに50億円も出さなければ現庁舎地の借手が付かないなど資金計画は破綻しているではないか。また50億円で収まると言い切れるのか。

答 民間施設との一体的な活用、まちづくりを総合的に勘案した人の流れを生み出す回遊性を造り、にぎわいを創出していくことが、まちを発展させると確信した。50億円の想定は社会情勢を注視する必要があるが、範囲内で収めるよう努める。

問 劇場ホール50億円でなく、毎年の経費、周辺整備の莫大な費用が、区民サービスに影響し、財政負担にもなるが。
答 基金から充当し、起債を積極的にかつ有効に活用し、一般財源の負担を極力抑える。

問 来街者を増やすために莫大な税金を投入するような、まちづくりを区民は望んでいない。中止すべき。
答 本区が大きく飛躍するチャンスであり果敢にチャレンジするので中止する考えはない。
●大塚三業通り周辺の浸水対策について



豊島公会堂

8月と9月、ゲリラ豪雨で道路冠水、床上浸水するなど甚大な被害となった。原因究明を行うとともに、雨量計や水位計を設置するなどして正確な情報を得られるようにすべき。
答 主な原因は、短時間の集中豪雨によって排水設備の許容量を超えたことと考えている。区内全域の効果的な情報収集のあり方を検討する。

人に優しい豊島区にするために



自治みらい

山口 菊子

●社会保障制度改革について

問 社会保障を維持するための重点化・効率化が示されたが、どう受け止めるか。
答 限られた財源を効率的に、必要度の高いものに重点的に使うものと考えている。画一的な施策としない。

問 「要支援」も介護保険内のサービスとして継続すべき。
答 介護保険制度内のサービスとしてとらえている。制度改革で、自治体の裁量による事業となるが、利用者に影響の少ない形での移行に努める。

問 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組み体制は。
答 組織改編も含め、部局間の連携を図り、医師会などの協力を得ながら「地域包括ケアシステム」の構築に取り組む。
問 制度改革による財政問題を、

り方を検討する。
問 下水道幹線の万全の対策と、被害地域を広く範囲に緊急再整備し、住民の命と財産を守る立場に立つべき。
答 下水道局に下水道の再構築を早期に完了させることを要請し、雨水ますの適切な維持管理や増設など、できる限りの努力をする。

巣鴨小学校の避難所開放を要請したが門は開かれなかった。今回の対応と教訓を今後どう生かしていくかが問われる。
答 8月は十分な体制が取れなかったことは反省点。9月は現地で懸命に対応した。いくつもの教訓を得たので今後に生かす。
問 子どもの貧困対策について、主体的に検討する時期にきている。「子どもプラン」の改訂にあたって子どもの貧困対策の施策化に向けた十分な検討をする。
問 子どもへの支援の一つである、未婚のひとり親への支援・寡婦(寡夫)控除等のみなし適用についての検討状況は。
答 来年度からの実施に向け、先行自治体の例を参考に対象者の要件、対象事業範囲の精査とともにシステム改修の準備などを着実に進める。

●消費増税の影響について
問 消費増税については反対消費増税による区財政や区民・区内事業者への影響は。
答 増税分の経費増や新たな施策など、区の財政運営も大きな影響を受けることになるので、今後の動向を注視していく。また企業収益や賃金などの改善が進めば影響が和らぐと思われる。
●オリンピック・パラリンピック

豊島区政のさらなるスリム化を目指して5



みんな・無所属刷新の会
古堺 稔人

ク東京開催について



オリンピック・パラリンピック東京開催

問 スクールソーシャルワーカーの位置づけや仕事の内容が周知されていない。
答 地域からの情報を受け止める機能が不十分であり、学校からの要請だけでなく活動できるよう、実施要項の見直しを検討する。
問 「子供の貧困対策の推進に関する法律」にも、貧困家庭への学習支援が明記されているが、貧困の連鎖にならないよう、学習支援に対する積極的な取り組みを。
答 子どもの貧困対策について、主体的に検討する時期にきている。「子どもプラン」の改訂にあたって子どもの貧困対策の施策化に向けた十分な検討をする。
問 子どもへの支援の一つである、未婚のひとり親への支援・寡婦(寡夫)控除等のみなし適用についての検討状況は。
答 来年度からの実施に向け、先行自治体の例を参考に対象者の要件、対象事業範囲の精査とともにシステム改修の準備などを着実に進める。



池袋西口地区まちづくり構想

池袋西口地区まちづくり構想
問 協議会に加入していない地権者への働きかけは。
答 協議会の協力も得ながら、積極的に勧誘していきたい。
問 まちづくり構想の地域周辺の事業者、住民への説明はどう進めるのか。
答 意見交換の資料として作成した構想素案の位置づけを、十分に説明していきたい。
問 地権者と周辺地域の事業者、住民が一体となるようなまちづくりについてどう考えるか。
答 今後は、周辺区域でのまちづくりの展開との整合性を図り、西口全体でバランスの良い、新たなまちの実現に向けて着実に一歩が踏み出せるよう取り組む。

問 海外からの来街者を増やすためのプロモーション展開は。

答 アニメ文化の魅力をさらに高め、日本国中さらに世界に向けて積極的に発信していく。

●**現庁舎跡地活用について**

問 新公会堂などへの新規投資よりも、学校の改築・改修など既存施設の更新の方が重要。新しいプランでどの程度にぎわいの創出が増えるのかその根拠は。

答 興行的にも成功を見込める、より大きな規模で整備を進め、稼働率を上げていく。街全体に

人々が回遊することが期待されるが、数値で示すことは難しい。

問 起債分の利子も含めた新公会堂の年間のランニングコストの見積もりはどれくらいか。

答 現時点で年間4億1千万円程度と試算している。

問 来街者を増やすべく、単体でも集客力のある国際的にグレードの高いホテルを誘致しては。

答 進出企業から見て池袋の評価は、極めて低い。池袋のまちを活性化し、価値を上げるには、まさに命懸けの努力がいる。

「豊島区の未来への展望」3



自民党豊島区議員
星 京子

●**熊本・鹿児島視察について**

問 「くまもと家庭教育支援条例」についての見解は。

答 大変意義深い条例である。

問 区の家庭教育支援への取り組み、さらに「ヨコミネ式」幼児教育についての見解は。

答 家庭教育学級等を実施している。「ヨコミネ式」は、注目すべき教育方法の一つである。

●**豊島のまちづくりについて**

問 「やねだん」の地域再生のかぎ、「学び」と「文化向上」のまちづくりについての見解は。

答 各地域で進められている、特色ある取組みの先駆的な事例を発信する。これを区民主体によるものとして盛り上げていく。

問 ファミリー世帯の転入・定住の促進、単身世帯の増加の施策は。また、町会の加入促進に対する新たな取組みはあるか。

答 住み替え家賃制度の補助制

度等を実施。また、新たに住民となる単身者の、コミュニティ参加への誘導策を推進していく。

問 少子・高齢化対策、新たな高齢者支援事業は。

答 特養等の整備に合せた保育所の整備、地域包括ケアシステムの構築等を検討する。



池袋東口駅前グリーン大通り

未来に希望輝く
安全・安心な街
豊島区を目指して



公明党
根岸 光洋

●**防災・減災対策について**

問 本区では老朽化していく社会資本の再整備についてどのような認識をしているか。

答 耐震性の確保という目的にとどまることなく、防災・減災機能の役割も考えながら実施していく。

問 西巣鴨橋は安全性が懸念されている。早急な対応策を望む。

答 鉄道事業者との協議なども踏まえ、架け替え工事を早められるよう努める。

問 8月21日の大雨と台風18号により南大塚を含めて全区的に大きな被害があった。早急な対策を望む。

答 都市化された街の大きな課題として、十分な究明と対策を検討する。都に下水道再構築工事などの早期完成を要望してい

●**経済面の効果に加え、地域の発展のためにも不可欠である。**

問 「ポジティブ・アクション」の取組み状況は。

答 講座開催等により実質的な機会均等の確保を推進していく。

●**現庁舎地活用について**

問 現庁舎地近隣の整備計画は。また、「東京ガス跡地」の活用について、「まちづくり委員会」からの提案の反映方法は。

答 今年度内に「現庁舎地周辺まちづくりビジョン」を策定する。将来のまちづくりに資する活用を東京ガスに要請していく。

問 東池袋一丁目栄町通り商店会地域の今後の整備は。

答 この地域の東側区道を「南北の軸」として再整備する。

●**区民の深刻な状況を解決する具体的な手立てについて**

問 区長は新庁舎や現庁舎地の開発など大型開発はすすめていく。一方で介護、国保、税金、医療、融資、雇用など、いくつもの問題を抱え困難な生活をしている区民が増え、改善されていない。深刻な状況を解決する具体的な手立てをうつつべき。

答 就労支援、高齢者対策、急増した待機児童対策など出来る限りの対応をしていく。ただし、社会保障は応分の負担を求めるのは当然、さらに激しくなる都市間競争に打ち勝つ大胆な投資も必要。

●**だれもが使える介護保険にするために**

問 特養ホームの入所基準を要介護3以上にするなど、国の介護保険改悪の動きに、反対せよ。

答 基本計画の改定時期などを踏まえ、15年を目安と考える。

問 特養ホーム入所希望者のうち優先度の高いAランクへ特別

今年度は東京で国体が開催される。この機会を逃すことなく、スポーツ振興に取り組んで行く。

●**青年の声を活かした文化・観光施策について**

問 外国人旅行者向けの池袋ガイドブックの情報をネット上に発信してはどうか。

答 ガイドブックをホームページ等にアップするようなことは大変有効である。まずはガイドブックなどの現状調査をしていきたい。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

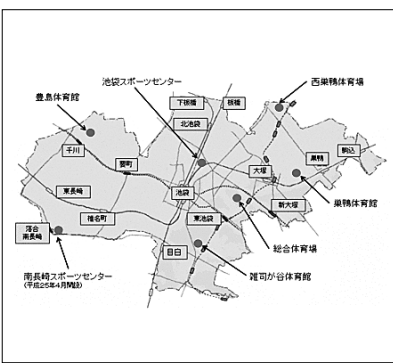
問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**空き家等老朽家屋対策について**

問 (仮称)豊島区建物等の適正な維持管理を推進する条例案が区から提示されたが「管理不全な状態」の定義に樹木の繁茂等についても記載すべきでは。

答 樹木の繁茂等の生活環境面については、条例の運用により対応していく。



体育施設マップ

●**スポーツ・健康施策について**

問 スポーツ・健康施策の積極的な推進を望む。

答 20年のオリンピック・パラリンピック東京開催が決定し、

●**区民の深刻な状況を解決する具体的な手立てについて**

問 区長は新庁舎や現庁舎地の開発など大型開発はすすめていく。一方で介護、国保、税金、医療、融資、雇用など、いくつもの問題を抱え困難な生活をしている区民が増え、改善されていない。深刻な状況を解決する具体的な手立てをうつつべき。

答 就労支援、高齢者対策、急増した待機児童対策など出来る限りの対応をしていく。ただし、社会保障は応分の負担を求めるのは当然、さらに激しくなる都市間競争に打ち勝つ大胆な投資も必要。

●**だれもが使える介護保険にするために**

問 特養ホームの入所基準を要介護3以上にするなど、国の介護保険改悪の動きに、反対せよ。

答 基本計画の改定時期などを踏まえ、15年を目安と考える。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**空き家等老朽家屋対策について**

問 (仮称)豊島区建物等の適正な維持管理を推進する条例案が区から提示されたが「管理不全な状態」の定義に樹木の繁茂等についても記載すべきでは。

答 樹木の繁茂等の生活環境面については、条例の運用により対応していく。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

●**区民の命と健康を守る区政に転換せよ**

問 外国人旅行者呼び込みの観点から池袋の誇る「ラーメン」の活用を望む。

答 外国人にも魅力的なラーメンを資源として情報発信やイベント開催などを研究していく。

の手立てをとり、介護の負担を軽減すべき。

問 現時点でAランクへ特別の手当てを検討する考えはないか。

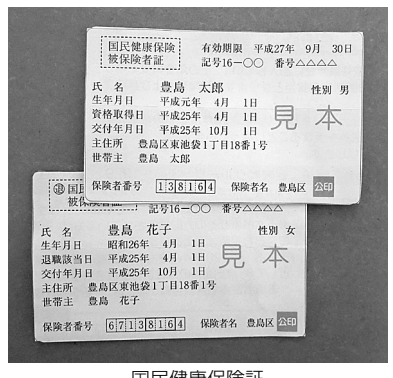
●区民の命を守る国民健康保険にせよ

問 毎年のように健康保険料が上がり払えない人が増えている。保険料収納最優先の取り立てはやめるべき。

答 区には制度を安定的に運営する責務がある。また保険料は貴重な財源として、納付者間の公平性を担保する必要がある。

問 国保条例第24条にある、保険料の減免規定を活用すべき。

答 規定の趣旨から、拡大適用は困難。また生活困難認定の基準額は特別区の共通基準である。



区民が育てる豊島の未来

●子育て世代が安心して暮らしていくために

問 子育て世代が増えている。未就学児数の推移予測と待機児童数の解消見込みについて。

答 しばらく、未就学児数は増加するだろう。来年度の待機児童数は保育所の増設により今年度の半数を下回るよう期待する。

問 国に医療費自己負担の引き上げへの反対意見を表明すべき。

答 直ちに反対意見を表明することは考えていない。

問 区独自に高齢者の一部負担金を軽減する制度をつくるべき。

答 他の被保険者との負担の公平性を損なうため、実施しない。

●保育園待機児解消について

問 認可保育園の待機児がますます増えている。認可保育園を増設すべき。

答 認可保育園設置よりも、乳児中心の保育施設の充実の方が早期の待機児童解消につながる。

問 わが党は、認証保育所等保育料の補助・拡充の条例を提案した。区は助成の増額や対象拡大の必要性をどう認識しているのか。

答 来年度に向け対象範囲拡大や補助額増額を検討する。

●住宅リフォーム助成制度の復活について

問 低所得者限定の事業ではなく、'99年から実施した住宅リフォーム制度を復活すべき。

答 本事業は対象者を絞り、モデル事業として実施している。



自治みらい 村上 典子

問 ホームページの情報を加えたものを作成し紹介していく。

問 外国人住民を含めた自転車の安全利用のための啓発は。

答 自転車のルール、マナーの一層の周知を図るため、転入窓口での啓発パンフの配布等効果的な方法を検討していく。

問 外国人住民に防災情報をどのように伝えるのか。

答 防災地図やパンフレットの外国語版の作成や、伝達、周知普及について検討していく。

問 災害時の外国人への対応に外国語ボランティアの活用や区内大学との連携を検討すべき。

答 幅広く検討していく。

問 ホームページ事業を一層活用するために、利用対象者を現在の留学生から在住者まで拡大するなどについての見解は。

答 本区の実態に照らしてさらに検討、工夫していく。

問 教育委員会が実施している日本語学級の課題と対策は。

答 個々の学習段階に応じた補充指導や各種教材の活用、教育相談を充実させ家庭との連携を深めていく。

問 言葉が必要としないサイン計画を区内全域に。

答 新庁舎の開設に当たり周辺のサイン計画を進めている。その後、区内全域について民間事業者を含め、研究していく。

●多文化共生の推進について

問 区内在住の外国人の割合は、7%を超えている。生活習慣の違い等によるトラブルをさける為にも、さまざまな情報を共有すべき。

答 転入手続きの際、外国語通訳案内のチラシに、外国語対応

問 ホームページの情報を加えたものを作成し紹介していく。

問 外国人住民を含めた自転車の安全利用のための啓発は。

答 自転車のルール、マナーの一層の周知を図るため、転入窓口での啓発パンフの配布等効果的な方法を検討していく。

問 外国人住民に防災情報をどのように伝えるのか。

答 防災地図やパンフレットの外国語版の作成や、伝達、周知普及について検討していく。

問 災害時の外国人への対応に外国語ボランティアの活用や区内大学との連携を検討すべき。

答 幅広く検討していく。

問 ホームページ事業を一層活用するために、利用対象者を現在の留学生から在住者まで拡大するなどについての見解は。

答 本区の実態に照らしてさらに検討、工夫していく。

問 教育委員会が実施している日本語学級の課題と対策は。

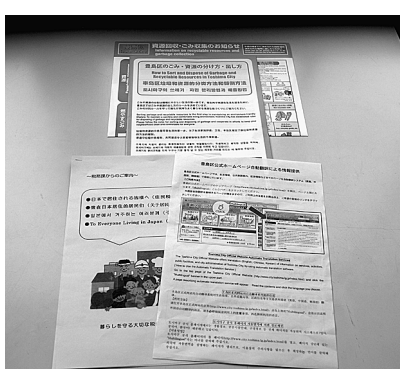
答 個々の学習段階に応じた補充指導や各種教材の活用、教育相談を充実させ家庭との連携を深めていく。

問 言葉が必要としないサイン計画を区内全域に。

答 新庁舎の開設に当たり周辺のサイン計画を進めている。その後、区内全域について民間事業者を含め、研究していく。

●安全・安心メールで検挙の情報までわかることで、もっと安心に。犯罪発生情報だけでなく、犯人の検挙まで含めた、安全・安心メールでの情報を!

問 安全・安心メールで、事件



多文化共生の推進

問 業者を含め、研究していく。

問 多文化共生の推進についての区の方向性は。

答 基本計画の重要施策の一つとして取り組んできたが十分でなかった。今後は、具体的な検討体制等を早急に詰めて、改めて区をあげて取り組んでいく。

●豊島区がん対策推進計画について

問 重点的に取り組む課題として子宮頸がん予防ワクチンの接種率の向上を掲げているが、副反応が多く報告され問題である。

答 厚生労働省による調査結果や国の動向等も踏まえ、計画の修正の必要性を判断する。

問 学校での子宮頸がん予防ワクチンに関する指導は。

答 保護者と相談し医療機関で有効性とリスクを聞いた上で接種の可否を決めること、一定の割合で副反応のあることを指導するよう校長会などで周知した。

問 落書き被害に対する区の対応状況は。

答 地域の町会・警察と合同消去活動や、壁画アートの実施等があるが、今後発生状況の分析を行い、地域との連携をより密にした対策にも取り組んでいく。

●投票の権利をしっかりと守りま。選挙のお知らせはがきを紛失した人、忘れた人には、人違い防止のため、投票所ですっかり本人確認を!

問 投票時「選挙のお知らせ」がない場合の選挙人名簿との照合はどう行っているか。しっかりと

する事によるメリットデメリットを斟酌し、実施していきたい。

●落書きは犯罪行為!地域のみんなで落書き行為を未然に防ごう!

問 落書き被害に対する区の対応状況は。

答 地域の町会・警察と合同消去活動や、壁画アートの実施等があるが、今後発生状況の分析を行い、地域との連携をより密にした対策にも取り組んでいく。

●投票の権利をしっかりと守りま。選挙のお知らせはがきを紛失した人、忘れた人には、人違い防止のため、投票所ですっかり本人確認を!

問 投票時「選挙のお知らせ」がない場合の選挙人名簿との照合はどう行っているか。しっかりと

健康で安全・安心なまちづくりを目指して



みんな・無所属刷新の会 関谷 一葉

●子どもの安全・安心について

問 B型肝炎ワクチンの区医師会独自助成事業への区の考えと、副反応・副作用報告時の対応は。

答 助成に取り組む自治体が少ない中、高く評価。周知もできる限り協力。副反応・副作用報告の際は、救済制度相談窓口の案内や相談等の支援を行う。

問 乳幼児の発達障害等の精神状況をどのように把握するのか。

答 乳児健診で、1歳6か月健診、3歳児健診で、状況を確認する。

●高齢者の安全・安心について

問 災害時に自力避難が困難な高齢者への対策は。

答 条例で災害時要援護者名簿を地域と共有。区政連絡会等で、日頃からの信頼関係醸成と、発災時の安否確認協力を説明。

●女性の安全・安心について

問 乳がん検診率向上推進のための区の取組みは。

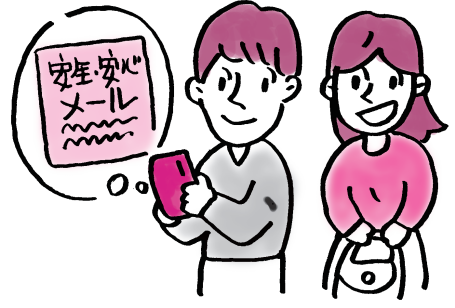
答 検診の無料化や未受診者への再勧奨を実施している。

問 子宮頸がんワクチンに関する区の取組みは。

答 ホームページなどによる情報提供と医療機関との連携で対応している。



健康で安全・安心なまちづくりを



豊島区安全・安心メール

常任委員会Q&A

総務委員会

開会日 9月27日(金)・10月2日(水)・9日(水)・17日(木)
 案件 議案4件・陳情4件・報告3件等

●新庁舎建設に伴う分煙施設の設置についての陳情

問 新庁舎に喫煙所を設けないという方針は、第2回定例会以降も変わっていないか。
答 区の計画なので変わっていない。1・2階の民間店舗部分については、禁煙か分煙かは定まっていない。

問 庁舎以外の区有施設はどうか。また、公園はどうなるのか。
答 屋内施設は全面禁煙を進める考えだが、各施設の実情を十分に考え対応を進めたい。公園については、所管課で方針を検討中。

区民厚生委員会

開会日 9月27日(金)・10月2日(水)
 案件 議案3件・陳情2件・報告5件等

●平成25年度豊島区国民健康保険事業会計補正予算(第1号)

問 国への償還金が約2億8千万円と多いが、この理由は何か。
答 医療費の伸びが鈍化したことにより、保険給付費が見込みより落ちたことが主な原因と考えている。

問 償還金をそのまま国に返還するのではなく、保険料の減額等に活用できないのか。
答 国から定率で交付された額なので、残余が生じたら返還する必要がある。

都市整備委員会

開会日 9月30日(月)・10月9日(水)
 案件 議案2件・陳情2件・報告6件等

●豊島区立自転車等駐車場の一部を改正する条例

問 グリーン大通り登録制自転車置場が来年3月に廃止になる。周知はどうするのか。
答 元々、暫定的な使用として設置された経緯がある。現在の利用者には登録時に廃止予定を伝えていく。広報や個別の申込時でも周知している。

問 新設の池袋駅南自転車駐車場は、原動機付自転車の駐車は認められていない。その対応は。
答 東池袋登録制置場の原付の駐車区画の拡幅や、民間のバイク置場への誘導を行っていく。

子ども文教委員会

開会日 9月30日(月)・10月3日(木)
 案件 議員提出議案1件・陳情1件・報告7件等

●就学援助制度の改善を求める陳情

問 国は8月1日に生活扶助基準の見直しを行ったが、就学援助の受給者が影響を受けない措置について本区の対応は。
答 生活保護費が引き下げられることで対象から外れる児童・生徒が生じないよう、具体的な措置をとる方向で対応する。

問 就学援助の認定基準である1.2倍、区の考え方は。
答 23区の標準的な水準に位置づけられていると考えている。

決算特別委員会

9月20日の本会議にて、平成24年度一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療事業会計・介護保険事業会計の4会計決算を審査するため、16名の委員からなる決算特別委員会を設置しました。

7日間にわたる質疑を行い、最終日の10月22日には、会派ごとの意見表明(要旨は8面)を行った後、採決を行った結果、いずれも賛成多数で認定することとしました。以下、質疑内容等の概要をお知らせします。

総務費

●区民ひろば地域のきずな推進プロジェクト事業について

問 区民の参加を得て、その地域の活性化に貢献していると思いが、その内容は。
答 区民ひろば運営協議会に地域のきずなを深めていくような事業の実施のため補助事業と音楽回遊キャラバンなど実施。

問 本年度も継続する事業は。
答 音楽回遊キャラバンと記憶の遺産事業を実施。

●帰宅困難者対策の取組み状況について

問 昨年度の取組み状況は。
答 10月に事業所の方々と通信訓練、11月に3千人規模で帰宅困難者対策訓練を実施した。

問 東京都が発表した地域危険度の豊島区の評価は。
答 前回より大きく改善した。

福祉費

●保育園待機児童の解消について

問 旧定義で500人を超える待機児童が生じた。現庁舎地周辺整備に莫大な予算をつぎ込む前に、この解消に十分取り組むべき。
答 どちらも同じように重要な

都市整備費

●池袋駅東口の歩行者優先化について

問 池袋駅東口周辺を歩行者優先にすると池袋副都心交通戦略で定めている。その進捗状況は。
答 池袋駅東口周辺の交通遮断にあたり、滞留車両の荷さばきをどこで行うか地域の方を対象に、アンケートを実施している。

土木費

●豊島区マンション管理推進条例に基づく届け出状況について

問 今年7月に施行された豊島区マンション管理推進条例では、管理状況の届け出を義務化した。その状況は。
答 現時点で296件の届け出がある。次年度以降は届け出がされないマンションには戸別訪問などもしながら促していく。

文化商工費

●中小企業の支援について

問 今後の雇用対策をどのように展開していくのか。
答 人手不足の企業と求職者とのマッチングが重要と考える。年齢別のセミナーや面接対策だけでなく、業種ごとの特徴に沿ったものや、よりスキルアップができるような講座など細やかに対応できる支援を考えていく。

教育費

●がんに関する教育について

問 これまでの実施状況は。
答 昨年度からすべての小中学校で実施している。

●図書館の司書の配置について

問 司書の配置は。
答 全小中学校に司書11名が3週間に4日配置されている。

国民健康保険事業会計

●保険料の収納率について

問 保険料の大幅な上昇を区としてどうとらえているか。
答 医療費が伸び続けており、制度維持のためには、保険料の値上げは回避できないと考えている。

●後期高齢者医療事業会計

問 窓口業務の委託について
答 後期高齢者医療制度に係る窓口業務委託の状況は。
答 入力業務、保険料の電話催告業務等を委託してきた。

●介護予防事業について

問 介護予防事業の実施状況は。
答 元気度チェックシートを配付し、必要な方に必要なプログラムを実施している。

決算特別委員会委員名簿

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎中島 義春 (公明党)
 - 磯 一昭 (自民党豊島区議団)
 - 西山 陽介 (公明党)
 - 古堺 稔人 (みんな・無所属(刷新の会))
 - 石川 大我 (自治みらい)
 - 高橋佳代子 (公明党)
 - 中田 兵衛 (生活の党)
 - 森 とおる (日本共産党)
 - 藤本さんじ (自治みらい)
 - 星 京子 (自民党豊島区議団)
 - 竹下ひろみ (自民党豊島区議団)
 - 渡辺くみ子 (日本共産党)
 - 大谷 洋子 (自治みらい)
 - 木下 広 (公明党)
 - 里中 郁男 (自民党豊島区議団)
 - 垣内 信行 (日本共産党)

平成24年度各会計決算 に対する各会派等の

意見表明書

自民党豊島区議団

平成24年度一般会計並びに3特別会計歳入歳出決算の認定に賛成する。

24年度決算は、構造改革による歳出抑制の継続や、更なる起債抑制などにより、「健全財政の一層の深化」を明確に感じられる決算であった。

款別に意見を述べると、総務費では、区民目線での利便性の高い総合窓口の実現や、様々な方策での積極的な町会支援を望む。福祉費では、見守り活動と同様に、高齢者への虐待問題にもきめ細かな対応を。都市整備費では、池袋駅及び駅周辺整備事業のサイン整備やバリアフリー化の早急な整備を。現庁舎地周辺まちづくりとして、区長を先頭に、慎重かつ大胆な取組みを。文化商工費では、起業資金などの融資、専門家派遣などで、今後も力強い中小企業サポートを。教育費では、区民の意向が反映され、区民に利用しやすいスポーツ施設運営を望む。

特別会計について、介護保険事業では、特別養護老人ホームは、開設が決定しているが、他区、他県との連携も模索し、更なる充実を。

今後の財政運営に当たっては、更なる経費節減、事務事業見直しとともに、盤石な財政基盤の構築努力を継続し、効果的な財源投入の一層の努力を要望する。

公明党

平成24年度一般会計決算及び3特別会計決算について、厳しい区財政のなか区民ニーズにこたえ、将来に繋げる手を打ったものであると評価し、認定に賛成の立場から意見を述べる。

款別に主な意見を述べると、総務費では、区民ひろばを拠点とした今後の活動に大いに期待する。セーフコミュニティ認証都市として、安全・安心に向けた模範となる取組みを期待する。消防団活動への積極的な支援を切に求める。福祉費では、認可保育園の定員拡大、保育コンシェルジュの配備等多様な対策を望む。衛生費では、胃がん、子宮頸がんに係る検査の早期実施を望む。B型肝炎ウイルスワクチン接種に対する区の支援を要望する。都市整備費では、木密10年プロジェクト・特定整備路線について、積極的な周知を再度要望する。文化商工費では、トキワ荘関係事業に係る情報発信に期待する。豊島公会堂の歴史等を引き継いだ現庁舎周辺等の整備への取組みを求める。教育費では、SNSによる目に見えにくいいじめへの対策の徹底を求める。「がんに関する教育」は、関係者の努力を大いに評価、更なる充実を。介護保険事業会計では、「介護予防サロン」等各種事業の周知、更なる長寿健康社会の推進を求める。

日本共産党

12年度一般会計ならびに3特別会計決算の認定に反対する。

第一に区民生活を守る財政運営となっていない。予算では財源不足が生じている。決算では20億1千500万円もの赤字となり、これは区民サービスを削減するなど、やるべきことをやらなかった結果である。一方、「豊島区の価値を上げる」と新庁舎建設や西部複合施設計画など大型開発にまい進してきた。さらに今回14億円もの区費を投入する劇場ホール等の整備方針を打ち出し、また東西デッキなど池袋グラウンドビジョン構想を進めるとしている。経費は基金や起債(借金)としており、区民需要への圧迫は必至。

第二に区民需要にこたえてこなかった。保育園の待機児童は増えているが、認可保育園の増設は拒否。特養ホームの待機者解消も不十分。防災では救援センターの不足に対応しない。生活保護の入浴券復活も拒否。商店街等の支援策は実態に合わず、住宅対策や就学援助も不十分。

第三に住民を追い出し、街壊しとなる道路計画など、不要不急、区民不在の街づくりを進めてきた。

毎年保険料が上がる国保会計、保険料の大幅な値上げを決めた後期高齢者医療会計と介護保険会計も認められない。

自治みらい

平成24年度一般会計、3特別会計決算の認定に賛成する。

財政状況の見通しが立ちにくいなか、安全・安心の豊島区づくりや財政健全化、施設の改修計画の推進や扶助費の財源確保などの課題への対応を求める。

総務費は、障害者等の要望にも配慮した地域防災計画の策定を。区所有の未利用地の利用促進を。区民ひろばへ若者講師派遣の検討を。人権・平和予算の拡充、LGBT当事者のニーズ把握、支援の拡充を。福祉費は、生活保護医療扶助費の精査、保育所入所負担金の収納率の更なる改善を。衛生費は、アレルギー対策への対応、緑内障の眼科定期無料検診の検討を。清掃環境費では、資源持ち去りへの注意・指導の継続実施を。土木費では、旧高田小学校跡地の公園計画検討会の進め方への配慮を。無電柱化の促進、放置自転車対策は新たな課題のある地区も検証を。文化商工費では、区所有美術品の観賞機会の拡充、商店街への積極的支援を。旧朝日中学校の「にしすがも創造舎」は地域住民との共同活用を。教育費は、学校施設等修繕費等の計画的な予算化、就学援助の適正な運用を。朝日小学校等、小規模校授業づくり支援事業の益々の充実を。国民健康保険事業は、保険料収納率向上の取組強化を。

みんな無所属刷新の会

平成24年度一般会計ならびに3特別会計決算についての認定に賛成致します。その中で何点か意見を述べたいと思います。

先日、来年4月1日からの消費税増税が決定されました。一方、我々は結党以来「増税する前にやるべきことがある」と訴えております。基本的に権限・人間・財源を地方に移し、現場において事業の必要性を判断し効率化を図るものであります。

豊島区においても国や都から補助金が付く事業は、その必要性を十分に精査せずに実施することが見受けられます。自前の財源のみだと仮定しても行うべき事業なのか精査すべきです。

今回の決算審査においては行政評価、特に事務事業評価表を活用させていただきました。その中で見えてきた事は人件費と事業執行の関係です。人件費も含めた事業費は事務事業評価表にのみ記載されています。「聖域なき事業の総点検」とうまくリンクさせ、さらにブラッシュアップされる事を期待致します。

その事業が本当に行政がやるべきものなのか、そして費用対効果はどうなのかを見極め、さらに無駄をなくし事業の効率化を図れるようお手伝い致します。また事業執行の効率化にインセンティブが働くような評価と予算の検討をお願い致します。

生活の党

平成24年度一般会計歳入歳出決算並びに3特別会計決算に対し、財政の健全化を維持しているのか、行政組織はひたむきな努力をしているのか、という2つの視点から意見を申し上げます。

最初に、財政の健全化に向けた行政改革を断行することこそ多くの区民の期待であり、現在でもその路線が堅持されているかが最大のポイントである。現状では、民営化への取組みが十分とは言えない。窓口を委託しても職員数が減っていないならば、何のための民営化なのか問題として指摘する。

第2に、区の組織そのものに若干の膨張傾向があると云わざるを得ない。管理職のポストが10増え、それを外部から採用すれば年に1億円は増えることを忘れないでほしい。

第3に、行財政運営がよく見えていないことを指摘する。行政運営が適切に行われているか、質的な変化を説明できる資料を要望する。事務事業評価表も十分とは言えない。課ごとの政策評価表を作成し、予算の執行状況を精査できる資料に改められたい。

今回の委員会での質疑が、新しい豊島区のために少なからず寄与することを願いつつ、平成24年度一般会計歳入歳出決算並びに3特別会計決算に賛成する。